

# “読書”は心の栄養



## 八百津小学校

八百津小学校は、今年度「明るくさわやかで笑顔あふれる八百津小学校」を目指し取り組んでいます。校訓にある「礼節・質・美」を大切にしながら、子どもの「笑顔」をたくさん創り出したいと考えています。そのための重点の一つとして取り組んでいることが「読書」です。

### 1. はじめに (めざす姿)

本校の読書指導の目標は、「本に親しみ、読書の大切さや喜びを味わうことができる。」です。低学年は「楽しんで読書ができる。」、中学年は「いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書をすることができる。」、高学年は「いろいろな本を選んで読み、考えを深めたり広げたりすることができる。」姿を目指しています。

### 2. 具体的な取り組み

#### (1) どきどき、わくわくする図書館

##### ①季節感のある掲示物づくり

図書館内、図書館前廊下、児童玄関正面には子ども達の目を引き、図書館に足を運びたくなるような季節感あふれる掲示でいっぱいです。



##### ②教科書との関連図書の充実

調べ学習に必要な本を整理したり、学習している内容を図書の本で読む並行読書を目的とした「おすすめ本コーナー」の設置。また、各教室の学習掲示物の前に関連する本を置く「ミニ図書館コーナー」の設置を行うなど、本を通して学習が深まることを期待した工夫をしています。



##### ③全職員での取り組み

今年度は、全職員による読み聞かせを年5回行いました。それぞれの先生の好きな本・得意分野の本を読みました。職員の読んだ本は、おすすめ本カードと共に図書館入り口に展示し、借りられるようにしました。

#### (2) 教育活動に関わった図書館指導

##### ①一週間に一度の全校読書 (朝の 20 分間読書)

毎週木曜日の朝に全校読書を行います。本は水曜日の帰りに準備し、翌朝登校した子どもたちから読書を始めます。

##### ②学年の推薦図書の設定

各学年 10 冊の推薦図書を設定し、読み切れるように委員会で呼びかけています。推薦図書は、毎年各学年 2～3 冊ずつ変更しています。

##### ③年 2 回の読書旬間

6月と10月の年2回位置づけています。

6月は『本に親しむ』ことをねらい、10月は『分類を意識して読書に親しむ』ことをねらいとしました。

#### (3) 家庭・地域社会・関係機関等との連携

##### ①ボランティアによる読み聞かせ

本校は平成8年度より、ボランティアの方による読み聞かせを行っています。4月23日の「子ども読書の日」をスタートとし年6回の読み聞かせは、地域の読み聞かせサークルの方、保護者ボランティア、PTAの母親委員で行っています。子どもたちは毎回楽しみにしており、静かに集中して聞くことができます。



##### ②読書旬間中の親子 20 分間読書

「親子読書カード」を配布し、低学年は保護者による読み聞かせや子どもたちの音読を聞いていただく、中学年以上は読んだ感想を親子で交流するなど、本を通して親子でコミュニケーションを図ることを目的としています。

親子読書後の保護者の感想の一部を紹介します。

- ・登場人物を決めたり、段落ごとに交代読みをしたりして楽しかったです。(1年生保護者)
- ・今回は怪談レストランのシリーズ本をたくさん読みました。読みながら怖くなって2人でくっついて読んだのが楽しかったです。(3年生保護者)
- ・歴史の本を読んだ後、家族で問題の出し合いをして楽しかったね。(6年生保護者)

### 3. さらに大切にしたいこと

子どもたちは、帰宅後スポーツ少年団の練習や習い事等充実した毎日を送っているようです。一方、テレビやゲームにかかる時間も多くなっています。なかなか本に関心を持つことが難しかったり、興味があっても時間がなくて読むことができないこともあるようです。

しかし、読み聞かせで紹介した本がどんどん借し出されたり、読書旬間などの活動があると、とたんに貸し出しが増えます。読書のきっかけを与え、値打ちを語ることで子どもたちの関心は大きく増します。

『読書は心の栄養』ということばを最近よく耳にします。「明るくさわやかで、笑顔あふれる」子どもたちを育てるとき、やはり読書は大切なものです。子どもたちが、読書好きになる取り組みをこれからも進めていきます。